

4. 国民に対する正しい知識の普及と理解

平成22年度の取組

H22予算額2.1億円 ← H21予算額2.5億円

● 職場や地域などあらゆる方面への正しい知識の普及

→ **H22新規・肝炎患者等支援対策の実施。**

肝炎に関する正しい知識を国民各層に知っていただき、
肝炎ウイルスの感染予防に資するとともに、
患者・感染者の方々がいわれのない差別を受けることのないよう、普及啓発に努めている。

○リーフレット等の配布

- ・「肝炎ウイルス検査のお知らせ」
- ・「ウイルス性肝炎の治療に関するお知らせ」
→ 都道府県、医師会等へ配布
- ・「事業主の皆さまへのお知らせ」
→ 事業者団体、関係団体へ配布
- ・「ウイルス性肝炎について(一般向け)」
- ・「肝炎ウイルスキャリア診療の手引き(医療機関向け)」
→ 全国C型肝炎診療懇談会において取りまとめられ、都道府県等へ配布
- ・「肝炎のお話Vol.1 私のインターフェロン治療体験」
→ 都道府県等へ配布

○ホームページによる情報発信

- ・ 最新情報、肝炎に関する各種資料、肝炎に関するリンク集 等

○自治体の普及啓発活動に対する補助事業

- ・ シンポジウム開催、ポスター作成、新聞・中吊り広告 等

厚労省における
主な取組

肝炎患者等支援対策（平成22年度）

地域の実情に応じた肝炎患者・家族等への支援を強化するため、平成22年度から、肝炎対策事業メニューとして、「肝炎患者等支援対策」を新たに追加。

※ 各都道府県が、地域の実情に応じて、以下のような事業を行う場合、その事業に対して国が補助を行うもの。基準額：約60万円、補助率1/2

本事業を活用しての事業（例）

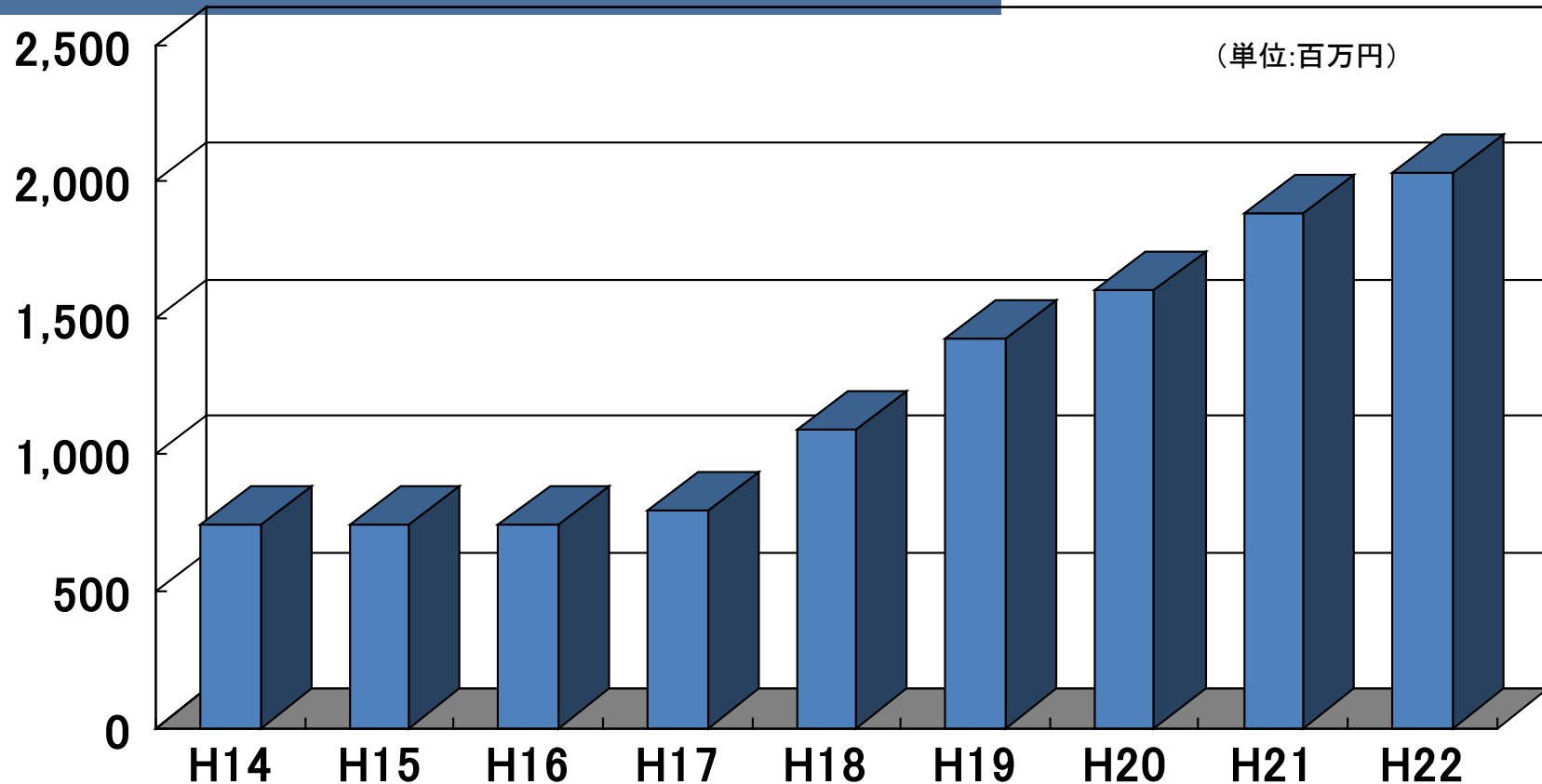
- 地域の患者、家族、患者支援団体等のご要望に応える『患者サロン』の開設
- 肝疾患診療連携拠点病院に設置する相談センター・相談員の資質向上のため、肝炎患者ないし元患者であった者を講師とする講習会を実施
- 同じ経験を有する患者・家族が相談にのり、互いに支え合うこと（ピアサポート）ができるよう、肝炎患者等を対象にしたピアサポーター育成のための研修を実施 ※ピア(peer):同じ立場の方
- 地域で、電話相談などの活動を実施する患者会の活動に対する支援等

5. 研究の推進

H22予算額 20億円 ← H21予算額19億円

H22 : 「**肝炎研究7カ年戦略**」を踏まえた、適切な課題設定に基づき、**肝疾患の新たな治療方法等の研究開発を推進。**

肝炎等克服緊急対策研究事業予算の推移 (平成14~22年度)



肝炎研究7カ年戦略 (平成20年6月肝炎治療戦略会議とりまとめ)

肝炎等の研究成果

- ・**B型肝炎:**
インターフェロン治療
逆転写酵素阻害薬治療
- ・**C型肝炎:**
インターフェロン治療
ペグインターフェロンとリバビリン併用療法
- ・**肝硬変:**
代償性肝硬変のインターフェロン治療
- ・**肝がん:**
ラジオ波焼灼、抗がん剤、手術、
等の治療法
- ・**基礎:**
肝炎ウイルス感染細胞、キメラ
マウスなど確立
- ・**疫学:**
肝炎患者の推計の基、母子感染
予防、等

新規重点課題

- ・**B型肝炎:**
逆転写酵素阻害剤に対する耐性ウイルスの機序解明
新規逆転写酵素阻害剤等の治療薬開発
- ・**C型肝炎:**
次世代的なインターフェロン治療法開発による根治率の改善
インターフェロン副作用の少ない治療法・治療薬開発
- ・**肝硬変:**
肝臓の線維化機序の解明から治療法開発
ヒトIPS細胞等の再生医療を利用した根治治療の開発
- ・**肝がん:**
診断マーカーや最新の画像機器を用いた超早期発見
技術の開発
新規抗がん剤の開発、集学的治療等新規治療法の開発
- ・**基礎:**
肝炎ウイルス感染後の病態進行過程の解明
肝炎ウイルスの薬剤耐性変異にかかわる過程の解明
肝炎ウイルスによる発がん機構の解明
- ・**疫学:**
全国規模の肝炎感染者の実態解明
検診・予防・医療体制等の評価

戦略目標

- 今後7年間で、
- ・**B型肝炎**
の臨床的治癒率、
約30%→40%、
 - ・**C型肝炎**
(1b高ウイルス型)
の根治率
約50%→70%
 - ・**非代償性肝硬変**
(Child-Pugh C)
における5年生存率
約25%→50%(B型)、
約25%→35%(C型)
 - ・**進行肝がん**
の5年生存率
約25%→40%
- を目指す。

戦略の評価と見直し



研究の進捗状況を3年後に評価
見直した上で必要な措置を講ずる